

輝け！日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第8号
令和7年12月10日発行
文責 米原
笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

たくさんの人との出会いに感謝!!

2学期は、いろいろな行事をとおしてたくさんの人ととの出会いがあり、たくさんの学びがありました。



◆**出会いから広がる学び**…学びは教室だけでなく、人との出会いや体験からも広がります。戦争を経験された方や仕事に携わってきた方のお話を直接うかがうと、教科書では知ることのできない思いや工夫が伝わります。人の生き方に触れることで「こんな考え方もあるんだ」と気づき、相手を尊重する心や責任感を育みます。

◆**その場で感じる体験の力**…見学旅行や修学旅行など、実際にその場所へ足を運ぶ体験も大切です。工場や博物館、歴史の舞台を訪れることで、学んだことが風景と結びつきます。五感で感じる体験は知識を確かなものにし、学びへの興味を広げます。友だちと協力しながら過ごす時間も成長につながり、仲間と力を合わせる喜びを育みます。



◆**地域とともに歩む教育**…地域の方々に支えていただく活動もありました。読み聞かせや文化体験などを通して、子どもたちは地域の温かさや伝統を感じました。戦争体験のお話や文化に触れる機会もあり、平和の大切さや伝統を受け継ぐ心を学びました。こうした活動は「地域に支えられている」という実感を与え、愛着や誇りを育てます。

◆**心に残る学びを重ねて**…一つひとつの経験が、子どもたちの成長につながっています。人との出会い、その場での体験、地域とのつながり… …そのすべてが重なり合うことで、学びはより豊かで温かいものになります。これからも、出会いと体験を大切にしながら、心に残る教育活動を積み重ねていきたいと思います。



子どもの力を伸ばすための『夢実現コーチング』③

学校ホームページにも毎月掲載中スマホでもどうぞ→



私たちが日々口にする「ことば」には、不思議な力があります。前向きな言葉を使えば未来が近づき、逆に否定的な言葉を使えば、その通りの結果を招いてしまうのです。これを**「注文の法則」**と呼びます。夢や目標を言葉で注文し、努力を重ねることで現実化していきます。例えば「小学校の教師になる！」と未来を注文すれば、そのための進路や学びが自然と整い、夢の実現につながります。世界的な車いすテニス選手、国枝慎吾さんも「オレは最強だ！」と自らを励まし続け、数々の栄光をつかみました。言葉が意識を変え、限界を突破する力になるのです。

とはいっても、人は時に「もうダメだ…」と弱音を吐いてしまうものです。そんな時に役立つのが**「キャンセルの法則」**です。「キャンセル、キャンセル！」と心の中で唱えることで、悪い注文を打ち消し、良い言葉に置き換えます。「疲れた」を「よく頑張ったね！」に、「ついてない」を「これからよくなる！」に変えるだけで、気持ちはぐっと軽くなります。

さらに**「フォーカスの法則」**として、できないことではなく「できること」に目を向ける習慣も大切です。失敗したからダメではなく「学べたから次は大丈夫！」と考えれば、成長のきっかけになります。雨の日も外出できないから残念ではなく、「静かに本が読める時間ができた」と思えば、心が豊かになります。

最後に、**一番最初に自分の言葉を聞くのは自分自身です**。だからこそ、毎日の生活の中で「良い言葉」を選び、未来を明るく注文していきましょう。ご家庭でもぜひ、子どもたちと一緒に「ことばの力」を楽しみながら実践してみてください。

